

「神奈川県と神奈川大学との連携と協力に関する包括協定」
に基づく具体的な連携事業

資料 2

具体的な連携事業	関連する主な SDGsのゴール
<p>連携事業の柱</p> <p>(1) 国際交流・グローバル人材育成に関すること</p> <p>外国人留学生の視点を活かした観光振興や、多文化共生を目的とした留学生支援事業など、世界30を超える国と地域に100以上の協定校・提携校を有する大学の特徴を生かした外国人にとって魅力ある環境づくりに取り組む。</p>	
<p>(2) 未病改善に関すること</p> <p>未病を改善する意識を大学内で醸成させ、学生及び教職員が心身ともに健康であることを第一に考え、一人ひとりが心身ともに健やかに活動でき、安心して学び・働ける環境を整備する。</p>	
<p>(3) 人生100歳時代の設計図の取組に関すること</p> <p>若者が人生100歳時代を自らの課題として捉え、考える機会を、大学の既存授業等を通じて設けるとともに、フィールドワークなどを活用した地域課題の解決やコミュニティの活性化に向けた取組の実施。</p>	
<p>(4) 神奈川県の地域を担う人材育成に関すること</p> <p>学部学生を対象とした、明日の神奈川を担う人材育成を目的とした神奈川県職員等による、県の施策や取組への理解、県の魅力を深めてもらうための授業開講(2020年以降)するとともに、大学の持つ教育機能と連携し県内小学校教員に向けた外国語教育中核教員養成研修を実施。</p>	
<p>(5) 産学公の連携強化に関すること</p> <p>学生と県内企業との情報交換・交流会を開催するとともに、大学の持つシーズ(専門プログラムや高度専門人材)と企業における、ものづくり技術との連携による、県内産業の活性化に向けた取組を実施。</p>	

【具体的な連携事業と関連するSDGsのゴールについて】

神奈川県と神奈川大学は連携してSDGsの取組を推進していきます。具体的な連携事業の実施によりつながっていくと考えられるSDGsの関連する主なゴールを参考に掲載しています。